

# くらや

Kuraya  
(長野県白馬村)



久しぶりに白馬にスキーへやってきた。この日は白馬五竜&白馬47へ。残念ながら、霧がかかっていて視界が悪く、思いっきりスキーを楽しめなかった。しかし、最近、五竜に興味深いレストランを見つけた。とおみゲレンデの中腹にある「風舎」という名の風変わりな店である。店の前にはクラシックカーが並べられ、玄関は忍者屋敷のような回転扉。中に入ると怪しげな暖炉に骨董品のオーディオセットがある。見ているだけで楽しめる店だ。ただ、料理は極めてノーマル。カキフライを食したが、スキーの疲れを癒し、午後からの活力を得るには十分であった。

白馬五竜&白馬47で昼過ぎまでスキーを楽しみ、16:00頃にやってきたのが今回紹介するくらやである。くらやは八方尾根の咲花ゲレンデの前にある温泉宿だ。くらやはそれほど新しい宿ではないが、増築を行い、真新しい棟もある。周辺には、最近のインバウンドを当て込んだ新しい施設が立ち並ぶが、コロナの影響で、どこも閑散としている。くらやは日本人中高年の常連客の心を捕まえており、それなりに賑わっている。

くらやの湯はいわゆる八方温泉である。風呂は1階にある。脱衣室の前には談話ができる休憩コーナーがあり、足マッサージ機が2基ある。スキーで疲れた足をほぐすにはもってこいである。

脱衣室には脱いだ物を入れる棚が12個、籠は8個ある。他に洗面台3個、ドライヤー、使い捨ての髯

剃りが完備されている。



浴室はシンプルで、洗い場が 5 か所あり、定員 6 人くらいの湯船があるのみだ。洗い場の間隔は狭く、実質は 3 人しか使えないかもしれない。シャンプーとボディーソープは完備している。湯船の湯はややぬるく、長湯どころか、居眠りができるくらいである。

夕食は、この日手に入ったというタコを使ったタコしゃぶ。コリコリとした触感が気持ちいい。女将さんは上品な感じの人。ご主人はタコ入道の風貌でスキー馬鹿らしい。居候

の「髪の毛爆発」君は、なんとアルペンスキーの国体選手だとか。くらやはかくのごとく個性豊かな面々で運営されている。

ちなみに、くらやの湯はアルカリ性単純温泉（低張性アルカリ性高温泉）で、筋肉または関節の慢性的な痛みまたはこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息または肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進などに効くという。

取材日の翌朝、八方尾根でいよいよ今シーズン最後のスキーである。天気は快晴だ。

#### DATA

名称	くらや
所在地	長野県北安曇郡白馬村大字北城 4811-2
電話	0261-72-3433
営業時間	16:00~22:00、翌朝 6:00~9:00（日帰り入浴不可）
定休日	無休
入浴料	宿泊者は無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2021 年某月某日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	八方尾根